

平成 30 年度

調査官招聘中学校授業改善研修会

第 4 回授業改善ブロック研究会（英語全体会）

英語科学習指導案



日 時：平成 30 年 10 月 12 日（金）5 校時

場 所：南城市立佐敷中学校（視聴覚室）

学 級：1 年 1 組（男子 18 名 女子 18 名 計 36 名）

授業者：T1 宮良幸乃

T2 デイビッド・マキヨン（ALT）



1. 単元名 Lesson 5 「 Ms. Allen's Family アレン先生の家族 」

2. 単元の目標

- (1) 辞書を活用するなどして意欲的に書く。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 自分の好きな人の紹介文を正しく書く。 【外国語表現の能力】
- (3) 一般動詞3人称単数現在時制の肯定文、疑問文とその答え方、否定文の構造を理解する。 【言語や文化についての知識・理解】
- (4) 疑問詞 **who** を用いた文構造を理解する。 【言語や文化についての知識・理解】

3. 単元について

(1) 教材観

この単元は、身近な人について写真等を用いながら紹介していくという内容である。また、その人について尋ねたり、人物などを指して誰なのか尋ねたりする。実際のコミュニケーションの場面で活用できる「身近な人について紹介する」ことは、基本的な技能や表現を身につけることができる大切な機会だと考える。

本単元を通して、自分の好きな人について正しく書く力を身につけさせたい。ここでの「正しく書く」ととは、英文を書く時の決まりを守って、学習した表現や語句を正しく使って書くことである。Lesson 3では、自己紹介文を書くことに取り組みさせた。本単元では、これまで学習してきたことを活用して、身近な人を紹介する文を書く活動に取り組みさせたい。そのために、書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるように下記の指導を工夫する。

まず、思考ツールの一つである「マインドマップ」を活用し、自分の伝えたいことをキーワードで書き出すことで、書きたいことを広げ、思考を整理させる。

次に、聞き手を意識した内容（順番）になるよう、「マインドマップ」に書き出したキーワードをナンバリングさせ、それをもとに、即興でペアに英語で伝える。その際、何度か相手（ペア）を替えて紹介することで、自分の伝えたい内容を整理させ、書く活動につなげたい。

書く活動においては、正しく書くためのポイントを示し、紹介文を正しく書く力を身につけさせたい。最初に自分自身で紹介文を書いた後、ペアでお互いに紹介文を読み合い、気づいたことを伝え合わせる。ペアでの気づきを活かして清書することで、中学生がつまずきやすい箇所の一つにあげられる「3人称単数現在時制」を理解させるだけにとどまらず、正しく書いて表現できるように指導する。

(2) 生徒観

一年生らしく、元気があり楽しく学びたいという気持ちを持っている生徒達である。小学校では、ゲーム等を通して様々な語句や表現に慣れ親しんできており、ペアでのやりとり等も楽しく取り組むことができる。Lesson 3では、英語の決まりを守って、自己紹介文を書くことに取り組みさせた。辞書等を活用して書く初めての単元で、帯活動で、教科書の登場人物になったつもりで、自己紹介文を書く練習に取り組みさせた。書くことに慣れてすらすらと書けるようになってきた一方で、単語と単語の間は小文字1字分あけずに書く、コンマやピリオドを付け忘れる、単語のつづり間違いがあるなどの課題がある。さらに、何をどのように書いていいかわからず、与えられた時間内で書くことができないことが課題であった。これらを踏まえ、本単元では、帯活動で身近な人についての紹介文を書く練習に取り組むことで、英文を書くことにより慣れ親しませたい。また、Lesson 3では、教師が英文を添削したが、本単元では、ペアで書いた文を読み合うことで、より読み手を意識して書くことができるようにしたい。

(3) 指導観

本校では、CAN-DO リストを活用し、その単元で身に付けたい力を明確にし、授業を進めている。本単元では、「自分の好きな人の紹介文を正しく書くことができる」ことを目標に、外国語表現の能力（「書くこと」）に焦点を絞ることで表現力を育む。本校では、「書くこと」における CAN-DO リストの学習到達目標を以下のように設定した。

「書くこと」	
卒業時	初歩的な英語で書いて自分の考えを表現することができる。
本校の各学年学習到達目標	
3 学年	○まとまった英文を文章の構成に気をつけながら書くことができる。 ○意見や感想を含めてまとまった英文で筋道を立てて書くことができる。
2 学年	○6 文程度のまとまった英文を書くことができる。（スピーチ原稿など） ○意見や感想を簡潔な英文で書くことができる。
1 学年	○6 文程度のまとまった英文を書くことができる。（紹介文など） ○自分が得た情報について、英文を正しく書くことができる。

また、生徒が見通しを持って学習できるように単元目標と学習計画を最初に確認する。単元目標を達成できるよう、帯活動などを活用して繰り返し書く活動を取り入れて定着を図る。本単元の帯活動では、マインドマップを活用して思考を整理させ、即興で伝え合った後、書く活動に取り組みせる。さらに、ペアでお互いが書いた文を読みあうことで、読み手を意識して正しく書けるように指導していきたい。

4. 評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力		ウ. 外国語理解の能力		エ. 言語や文化についての知識・理解	評価方法
	話す	書く	聞く	読む		
辞書を活用するなどして意欲的に書く。	/	自分の好きな人の紹介文を正しく書く。	/	/	①一般動詞 3 人称単数現在時制の肯定文、疑問文とその答え方、否定文の文構造を理解する。 ②疑問詞 who を用いた文構造を理解する。	ア. 活動の観察 イ. 紹介シート エ. 紹介シート 後日ペーパー テスト

5. 指導と評価の計画（全9時間）

時	○ねらい ・学習活動	評価 規準	評価方法
1	<p>○本単元で身につける技能や理解する内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>自分の好きな人の紹介文を正しく書く。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元で身に付ける技能や目標を知る。 		
2	<p>○一般動詞3人称単数現在時制の肯定文の文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動「説明しよう」 提示された写真についてペアに説明した後、ペアに伝えた文を書く。 ・教師の Small Talk で本時の目標文の意味を推測する。 ・一般動詞3人称単数現在時制の肯定文の文構造を学習する。 ・ペアでのやりとりを通して表現に慣れる。「Picture telling」 ・まとめ：与えられた絵（写真）についての英文を書く。 ・自己評価と本時の振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <ol style="list-style-type: none"> ① マインドマップを作成する。 ② 即興でペアに伝える。 ③ ワークシートに英文を書く。 ④ ペアで英文を読み合う。 ⑤ 清書する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞3人称単数現在時制の肯定文の文構造を復習する。 ・「有名人クイズ」をペアで出題しあうことで表現に慣れる。 ・まとめ：与えられた絵（写真）についての英文を書く。 ・自己評価と本時の振り返り 	エの①	後日ペーパー テスト
3	<p>○一般動詞3人称単数現在時制の疑問文とその答え方の文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動「説明しよう！」「ミニライティング（スポーツ選手紹介）」 ・教師の Small Talk で本時の目標文の意味を推測する。 ・「Yes No questions」で、教師とのやりとりを通して表現に慣れる。 ・まとめ：与えられた絵（写真）についての英文を書く。 ・自己評価と本時の振り返り 	エの①	後日ペーパー テスト
4	<p>○一般動詞3人称単数現在時制の否定文の文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動「1分間チャレンジ」「ミニライティング（ペット紹介）」 ・教師の Small Talk で本時の目標文の意味を推測する。 ・グループでのやりとりを通して表現に慣れる。「Back to the board」 ・まとめ：与えられた絵（写真）についての英文を書く。 ・自己評価と本時の振り返り 	エの①	後日ペーパー テスト

	宿題 自分の好きな人について写真や絵を準備し、紹介したいことをマインドマップに書き出す。		
5	<p>○疑問詞 who を用いた文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動「説明しよう!」「ミニライティング(クラスメート紹介)」 ・教師の Small Talk で本時の目標文の意味を推測する。 ・グループで「Who is this? クイズ」を行い表現に慣れる。 ・まとめ: 絵を見て、疑問詞 who を用いた文を書く。 ・自己評価と本時の振り返り 	エの②	後日ペーパーテスト
6	<p>○教科書本文のあらすじをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動「1分間チャレンジ」 ・「エキスパートリーディング」で、グループで本文のあらすじをまとめる。 ・元のグループに戻り、まとめた内容を伝え合う。 ・教師と生徒がやり取りをしながら本文のあらすじを確認する。 ・まとめ: 「T or F」で本文のあらすじをつかめたか確認をする。 ・自己評価と本時の振り返り 		
7	<p>○教科書本文の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動「1分間チャレンジ」 ・新出単語の導入及び練習をする。 ・絵を用いて、教師と生徒がやり取りをしながら本文内容を確認する。 ・「Q&A」を通して、本文内容を理解する。 ・本文の音読練習をする。 ・まとめ: 本文に登場する人物を選んで、その人を説明する文を書く。 ・自己評価と本時の振り返り 		
8 本 時	<p>○自分の好きな人の紹介文を正しく書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動「説明しよう!」 提示された写真についてペアに説明した後、ペアに伝えた文を書く。 ・教師の Small Talk を聞く。 ・準備してきたマインドマップをもとに、何をどの順番で伝えるか考え、ペアに伝える準備をする。 ・マインドマップをもとに、自分の好きな人について即興でペアに伝える。 ・ワークシートに紹介文を書く。(紹介シート) ・教師のミドルコメントを聞く。 ・ペアで読みあい、気づいたことを伝える。 ・まとめ: ペアでの気づきを活かして清書する。 ・自己評価と本時の振り返り 	ア イ	活動の観察 紹介シート
9	<p>○本単元で学んだことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級の生徒が書いた「自分の好きな人の紹介文」をいくつか紹介する。 ・他の学級の生徒が書いた「自分の好きな人の紹介文」を活用して、教師が生徒とやりとりをしながら、「Who is this?」クイズをする。 ・単元テストに取り組む。 	エ① エ②	ペーパーテスト ペーパーテスト

6. 評価方法

A:「十分満足できる」 B:「おおむね満足できる」 C:「努力を要する」

ア. 辞書を活用するなどして意欲的に書いている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(1) 評価方法 第8時の自分の好きな人の紹介文を書く活動において観察を行う。

(2) 評価を判断した具体例

活動への取り組みの様子を観察し、

- ・辞書を活用するなどしながら書いている場合、「十分満足できる」状況(A)
- ・書くことに取り組めていない場合、「努力を要する」状況(C)

⇒教科書や辞書などを活用していなくても、意欲的に書いている姿が観察される生徒の場合、(A)と判断する。

(3) 「C」と判断される生徒に対しての手立て

活用できそうな語句や表現をヒントとして与え、どのように書けばよいかを具体的に助言する。

イ. 自分の好きな人の紹介文を正しく書く。 【外国語表現の能力】

(1) 評価方法

第8時の「自分の好きな人の紹介文を書く」活動で、「紹介シート」を回収し評価を行う。

(2) 「おおむね満足できる」状況(B)と判断した具体例

This is my mother.

She works at a school.

She teachs English. →teaches

She likes tennis.

She is very cherful. →cheerful

⇒多少文法ミスやスペルミスがあっても、教科書や辞書などを活用して、読み手に伝わるように学習した文を用いて5文程度書くことができているため「B」と判断する。

(3) 「C」と判断される生徒に対しての手立て

紹介シートを返却する時に、その人物のどの部分を伝えたいかを個別に確認し、本単元で扱った表現や活用できそうな表現などを振り返らせながら、具体的に助言する。

エ. ①一般動詞 3 人称単数現在時制の肯定文、疑問文とその答え方、否定文の文構造を理解する。

②疑問詞 **who** を用いた文構造を理解する。

【言語や文化についての知識・理解】

(1) 評価方法 後日ペーパーテストで、一般動詞 3 人称単数現在時制の肯定文、疑問文とその答え方、否定文、疑問詞 **who** の文構造の理解度をチェックする。

※評価の手順：本単元の学習を終えた後、後日、以下のようなペーパーテストを実施する。

次のような場合に、何と言いますか、それぞれ英語で書きなさい。

- ① 自分の父は、水泳が好きと言いたいとき
- ② 相手のお父さんが、テニスをするか尋ねたいとき
- ③ 自分の母は、テニスはしないとりたいとき
- ④ 写真を見て、写っている男の子が誰か尋ねたいとき

(2) 「おおむね満足できる」状況(B)と判断した具体例

- ① **My father likes swimming.** →swimming
- ② **Does you father play tennis?** →your
- ③ **My mother doesn't play tennis** →ピリオド付け忘れ
- ④ **Who is boy?** →this boy

⇒いずれも多少のスペルミスや文法ミスがあっても、主語+動詞+目的語の語順で、3 人称単数現在時制の **-s**、**Does**、**doesn't** を用いて文を書くことや、「**Who**+疑問文の語順」で書くことができている場合は、文構造を理解していると考え「B」と判断する。

7. 本時の展開 (第8時)

過程	生徒の学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (7分)	<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 帯活動「説明しよう！」 提示された写真についてペアに説明した後、ペアに伝えた文を書く。</p>	<p>・必要に応じて辞書を活用させる。</p>	
展開 (33分)	<p>3 教師の Small Talk を聞く。</p> <p>4 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習した語句や表現を使って、自分の好きな人の紹介文を正しく書くことができる。</p> </div> <p>5 準備してきたマインドマップをもとに、何をどの順番で伝えるか考える。ペアに伝える準備をする。</p> <p>6 マインドマップをもとに、自分の好きな人について即興でペアに伝える。(ペアを替えて2回)</p> <p>7 紹介シートに紹介文を書く。</p> <p>8 教師のミドルコメントを聞く。</p> <p>9 紹介シートをペアで読みあい、気づいたことを伝え合う。</p>	<p>7 机間指導で個別指導をする。</p> <p>8 書画カメラを活用する。</p> <p>8 「書くこと」の視点を示す。</p>	<p>ア活動の観察 イ紹介シート</p>
まとめ (10分)	<p>10 ペアでの気づきを活かして清書する。</p> <p>11 本時の授業を振り返って自己評価表に記入する。</p> <p>12 次時の予告を聞く。</p>		

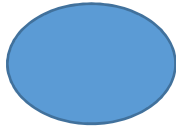
8. 板書計画

Friday October twelfth sunny めあて

学習した語句や表現を使って、自分の好きな人の紹介文を正しく書くことができる。

帯活動の
参考文

写真
マインドマップ
(教師のモデル)



好きな人の紹介文
(教師のモデル)

ペアに伝える時に気を
つけること

